

経営管理科 3年B組

教 科	商 業	科目(単位)	課題研究 地域講座 情報コミュニケーション(3単位)
使用教科書	—		
授 業 形 態	通常授業 ・ 分割授業 ・ T T		

1 科目の目標

商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- <4月から6月>
- それぞれの生徒が目標とする資格取得に必要な知識、技術の習得を目指し学習する。(ビジネス計算実務検定・ビジネス文書実務検定・簿記実務検定)
- <7月から2月>
- 今まで学習した商業の学習を基本として、生徒の興味、関心、進路希望に応じた内容の調査、研究、実験、作品制作および発表を行う。(個人またはグループ)

3 学習の方法

- 各自が教材を準備し、検定日までの計画を立てる(授業および家庭学習)。
- 計画通り取り組み、計画通り進んでない場合は、計画の見直しを行う。(模擬試験問題集・過去問題など)
- 研究テーマを設定する。
- 研究テーマに必要な教材となるものを調べる。(ノート、コンピュータ、新聞など)
- 計画を立て、実行する。
- 研究結果をまとめ、各自の研究成果を発表する。

4 課題・補習について

- 毎時間の取り組みの計画を立て実行し、振り返る。
- 各自の目標への進捗状況を確認します。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

- 全商ビジネス計算実務検定 1級
- 全商ビジネス文書実務検定 1級
- 全商簿記実務検定 1級

経営管理科 3年B組

教科名	商業	科目(単位)	課題研究 地域講座 情報コミュニケーション(3単位)
-----	----	--------	----------------------------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	電卓の部 ビジネス計算	<ul style="list-style-type: none"> ・円、ドル、ユーロの端数の処理法を学習する。 ・利息、元利合計、割引、手取金、終価を求める計算を学習する。 ・代価計算を含む売価、損益の計算や手数料、定額法と定率法の計算及び減価償却計算表の作成を学習する。 ・表やオブジェクトを含む文書やテキストファイルを含む文書を、指示に従って体裁よく作成するために学習をする。 ・原価の概念、原価の目的、製造業における簿記の特色と仕組みを学習する。 ・材料費、労務費及び経費の計算と記帳を学習する。 ・個別原価計算、部門別個別原価計算、総合原価計算を学習する。 ・製品の完成・販売と本社・工場間の取引の記帳法や製造業の決算を学習する。 ・標準原価計算の目的と手順、原価差異の原因分析や損益計算書の作成を学習する。 ・直接原価計算の目的と損益計算書の作成や短期利益計画を学習する。 ・模擬問題集を活用し検定学習をする。 <p>全商ビジネス計算実務検定 全商ビジネス文書実務検定 全商簿記実務検定 各種1級</p>	行動観察 提出物 授業内テスト
	ビジネス文書実務の部		行動観察 提出物 授業内テスト
5	簿記の部		行動観察 提出物 授業内テスト
6			行動観察 提出物 授業内テスト
			行動観察 提出物 授業内テスト
			行動観察 提出物 授業内テスト
7	1 地域理解	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村を調べ、他の市町村と比較する。 ・岐阜市の歴史・文化・課題を調べる。 <p>「観光甲子園」、「高校生まちづくりコンテスト」のテーマを元に地元の魅力を発信できるプランを立案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したプランをコンテストに出品する。 <p>クラス内で発表し、代表者を決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者は、学校での発表をするための改善をする。 ・代表者以外の生徒は、発表内容を改善し、卒業課題制作をする。 	研究テーマ設定
8			行動観察
9	2 研究課題の設定		課題提出
10			作品提出
11	3 コンテストへの参加		
12	4 クラス内発表		
1	2 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表を行う。 ・発表を終えての反省を行い、来年度への引き継ぎをする。 	発表評価 作品評価
2			